

産建教育常任委員会 議事録

日時：令和8年4月8日（水）

午前10時00分～

場所：第1・2委員会

出席者

委員名 ☐委員長 遠藤 龍之 ☐副委員長 丸子 直樹 ☐委員 欠 員
☐委員 品堀 栄洋 ☐委員 岩佐 孝子

欠席委員なし

会議次第

1 開会宣告 【委員長】

2 連絡

※ SideBooksの04_常任委員会 産建教育常任委員会フォルダに開催通知及び次第を格納しております。Microsoftチームズにも併せて送信します。
説明員として、産業観光課長の出席を求めている。

3 事件

(1) 商工業、農業の担い手確保対策について

【課長】商工業、資料に基づき説明。商工会会員数平成22年度から個人は減少、法人は横ばいとなっている。事業主の高齢化に伴う引退等が考えられる。業種は商工会によると卸売及び小売の減少が多い。

【委員長】質疑に入る。

【岩佐孝子委員】事業者減による空き店舗が増加していると思われる。町民生活課の空き家事業での実績はないが、坂元地区ではFALOビールの展開はある。

【岩佐孝子委員】山下の町中にお試し店舗を震災後設けたことがある。テコ入れをしながら、町が資金援助を行うことで独立まで結び付けられるといい。整体やラーメン屋及び居酒屋、丸森町では行っているが、資金援助は考えられないか。

【課長】総合計画に記載して進めることは考えられるが、丸森町のような事例には結びつかないが、現状の補助金での対応が考えられる。

【岩佐孝子委員】補助金の増額考えられないか。震災後のシャッター通りの解消に向けた対応が望まれる。

【副委員長】事業承継が事業主の高齢化により難しい。町として事業承継に特化した、親族外の第三者への支援が考えられないか。地域おこし協力隊を活用してコー

ディネーターの活躍も考えられないか。現状どうか。

【課長】地域おこし協力隊は企画財政課と協力している。現状、農業分野は観光農園の取り組み、漁業分野は漁業体験の取り組み、産業振興は旧坂中体育館の活用までは進んでいるが、この先3年を見越した中で、考えたい。

【副委員長】事業主の高齢化に伴う個別ヒアリングは行っているか。

【課長】町として専門的に答えられないこともあり、事業承継の相談が直接来ておらず、商工会で対応している。

【岩佐孝子委員】町内の企業、工場などを見ても町内からの就労者が少なく感じる。インターン制の受け入れ例があったが、地元の高校・大学へのPRを町として行うべきでは。町の援助が薄かったように感じる。その際には商工会等との連携をとって進められたいが、事例はあったか。

【課長】インターン制については、ここ数年は確認が取れていないため確認したい。町がかかわれる制度も調査する。就労の関係は、去年はひだまりホールで町内企業が学生向けの企業説明会を開いて好評であった。今後も継続したい。亘理町メインの取り組みだが、亘理高校で町内企業案内も行っている。また、宮城病院の人員確保に向けた取り組みへの援助を行っている。

【委員長】全体方向性を町としてどう考えているのか。誘致企業もあり、希望が見えるが、実際町内としてどうかということを調査する必要はないか。内容までは求めないが、実施しているのか。企業誘致は長年取り組んできているが、なかなか成果が出ていない。浅生原区の商工団地、電気がないので誘致できない。町費では膨大すぎることで成功していない。太陽ニュータウンにあった企業の撤退など。総合的に総括し、次に生かす必要がある。場当たりのトップ対応ではなく、町の方向性を示す必要がある。

【課長】企業に対する対応は、個別に町で対応してきた。以前は誘致場所もなく、町有地の中で融通したり、既存企業の空き地を融通したりの対応だったが、現状からの対応は、企業団地を造成するのではなく、既存町有地の活用を図っていく。

【委員長】声がかかる企業はどの程度の用地を必要としているのか。町内はほぼ農地が平場のため、優良農地をつぶして企業団地を造成することが考えられるが、どこまでの想定をして町では対応しているのか。

【課長】以前、小平区の山元インター付近の話があったが、結果難しかった。交通便利を考えるとそこも考えられる。

【委員長】都市計画での土地利用と、農政との関係がどうなっているのか。連携がきちんとされているのか。都市計画審議会に出ていることもある。町内での整理、総合計画での整理、常に整理をしておく必要はないか。十分ではないのでは。

【課長】昨年課が統合したところ。都市計画とは連携しているが、町全体としての整理には不足点はある。

【品堀栄洋委員】誘致企業にメリットや条件を説明できる条件が整っていたらいいが、そうではない。今日の議題の商店がなくなると困るといわれるが、買い物に行

く人がいなければなくなる。最終的に人口減少につながる。

【委員長】町づくりに必要な商店が、本町にはなくなっている。偏ったまちづくりの結果。いびつな衰退を生じたのではないか。人が住んでいるのだから最低限必要なもの。町づくりの方向性の誤り。組織体制の問題としても、課の再編で範囲が広すぎる。これは町長に求めることだが、整理はしておくべきでは。担い手の対応をするために必要なことは何か。産業観光課として商工部門も現状をどう考えるのか。私はこう考えるが。

【課長】人口減少の中、必要なものは確保したい。補助金の額もあるが、考えていきたい。

【品堀栄洋委員】震災後、山下駅前店舗兼住宅誘致だといってみてもよい人が多かった。商売も成り立ったが、店舗のみのゾーンだったため、参画できなかった。今後、例えば夢いちごの郷周辺に展開するとか。旧坂中にはあるが。大手に負けな、場所選定が考えられないか。

【委員長】当時の計画なので、現状ではまた違うと思うが、総括して分析したうえで、今後のまちづくりを進めていく必要がある。駅があつて商店があつて人が集う場に都市機能があることが必要。

【副委員長】町全体として商工業をどうしたいか、産業観光課としてはどう感じているか。

【課長】人口減少が緩やかな傾向にある中、商店は生業としてやっていける規模が課題、県や商工会との連携、町としての支援をどこまで、ということも決まっていない。残していきたいという気持ち。

【岩佐孝子委員】多忙な中で町内をくまなく歩いているか。各地区、店舗、工場等から課題を聞いたことはあるか。課として町として分析していく必要がある。困っている人、地域に入っていくことが必要だと感じる。町内実情把握の結果を教えてください。

【課長】商工業は令和5～6年度に工業の聞き取りを行った。7年度は事例によって訪問した。電気料の高騰を町の支援につなげてもある。農林水産業は、現場での聞き取りはできている。商業はできていない。

【岩佐孝子委員】地域の特徴を生かして、兵庫県多可町で行列ができる、お母さんがやるお稲荷さんがあった。地場産品を生かしたもの。人数が少なくなっても勢いがあれば魅力を生じる。地域の方を動かすバイタリティを。基幹産業農業支援や支援学校生の就労先確保など、観光ルートの広がり、坂元茶室までの駅からのルート整備を住民が行っている。行政と一緒にできたらいい。

【委員長】組織体制が不足するのであれば、課としても要請してほしい。委員会としてもしたい。

【孝子委員】単線ではなく複線、飛行機まで取り入れる発想。地域の人と行政の連携で、大人だけじゃなく子供が夢を持った感覚を取り入れてほしい。期待している。

(説明員退席)

(11:14休憩 11:20再開)

4 その他

○次回開催 4月28日(火) 午前10時00分～
再編小学校について【教育総務課 日程確保済み】

5 閉会宣告 【委員長】

(11:40閉会)